

(別紙様式1)

## 平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	岐阜県立恵那農業高等学校				
実 施 期 間	① 平成25年 10月30日(水)・10月31日(木) ② 平成25年 11月 8日(金) ③ 平成25年 11月23日(土) ④ 平成25年 10月 8日(火)				
実 施 概 要	① 文化祭公開 : 各クラス・文化系部活動のステージ発表・展示を保護者に限って公開する。 ② 授業参観(保護者) : この日のすべての授業を公開授業とする。 ③ 農高祭の公開 : 科目「総合実習」等で生産した農産物や加工品の販売を中心に、生徒のプロジェクト学習等の成果を発表するなどして、保護者や地域の方々に本校の学習活動を理解してもらう。 ④ 「恵那の次米」に関する地域行事への参加 : 「恵那の次米」の奈良薬師寺への献納に参加。				
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他				
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
来 校 者 数		文 化 祭	公 開 授 業	農 高 祭	合 計
	保 護 者	75人	5人	約1800人	約1800人
	地 域 関 係 者		0人		
実 施 状 況 *できるだけ 詳細に記入	○文化祭 すべてのクラスが体育館ステージで発表を行った。家族のみに公開としたが、2日間で75人の見学があった。				
	○授業公開 11月8日(金)のすべての授業を公開とした。事前の調査では、保護者7名参観希望があったが、当日は保護者5名の参観だった。				
	○農高祭 11月23日(金)勤労感謝の日に実施した。毎年この日に行っている行事で、研究成果の発表と実習生産物の販売を中心に実施している。地元を中心に約1800人の来校者があった。PTAや同窓会の方もバザーで協力してくださっている。				

	<p>○「恵奈の次米」に関する地域行事への参加</p> <p>平成9年、奈良県明日香村で発見された木簡に「西暦677(天武6)年に美濃国恵奈の次米が朝廷に献納された」と書かれていたことにちなみ、恵那市の依頼を受けて、本年度より本校の2年園芸科学科の生徒が、5月のお田植え祭、9月のみのり祭に続き、10月8日(火)に奈良薬師寺への献納に参加した。</p>
<p>成果及び課題</p>	<p>○文化祭</p> <p>すべてのクラスが体育館ステージで演劇を発表した。2日間で75人の保護者の見学があり、いつもとは違う生徒の姿を見ていただけた。</p> <p>○授業公開</p> <p>保護者からは、「先生の説明が工夫されており、生徒が楽しそうに授業を受けていた。昨年より授業を受ける姿勢がよかった。」、「生徒があいさつをしてくれ、好感が持てた。」などの感想をいただいた。</p> <p>保護者の参加が少ない。平日であること、直前に文化祭、直後に農高祭があり、そちらで来校することなどと考え合わせれば仕方がないかもしれないが、来年度は参観者が増えるよう何らかの対策を講じたい。</p> <p>○農高祭</p> <p>毎年、勤労感謝の日に行う行事で、日頃の学習の成果を学科ごとに発表するとともに、実習生産物の販売をする日である。この行事を楽しみにしている保護者や地域の方々もとても多い。遠く県外からの来校者もある。生徒は、販売、説明、体験教室の指導、車の誘導等それぞれの役割を果たし、来校者とふれ合うことで様々な体験をすることができた。</p> <p>○「恵奈の次米」に関する地域行事への参加</p> <p>お田植え祭では、早乙女姿に扮した女子生徒が手で田植えを行った。みのり祭では、早乙女役の女子生徒が次米踊りを披露し、男子生徒が蓑傘に法被姿で鎌を使って稲刈りを行った。10月には精米された次米を奈良県薬師寺へ献納した。その日は天武天皇を偲ぶ法要「天武忌」の行事の一環として献納祭が行われ、厳粛な中、生徒たちは滞りなく献納を終えた。一連の行事は、普段体験することのできない貴重な機会であり、生徒たちは稲作の伝統や朝廷と地域とのつながりを身をもって感じるすることができた。</p>